

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 愛媛県立新居浜東高等学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校     中高一貫<sup>※注2</sup>     高等学校  
 教員養成大学     専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む    ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0864

愛媛県新居浜市東雲町2丁目9番1号

E-mail niieh-ad@esnet.ed.jp

Website \_\_\_\_\_

幼児児童生徒数 男子322名    女子463名    合計785名  
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は「国際理解教育」をテーマとして、カンボジア支援を中心に活動を続けている。今年度は金銭面の支援だけでなく、自分たちの住む地域や生活を足元から見詰め直すような取組を行いたいと考え、以下のような活動を行った。

### ① ダンボールコンポストの利用・紹介

調理実習などで出た生ごみを堆肥に変え、校内の樹木などに活用した。堆肥で育てたゴーヤをパウンドケーキにして文化祭で紹介し、生徒や教員で試食し、食品ロス問題やゴミの減量について考えたりした。



② 文化祭バザーの収益金の寄付

2年生が中心に行ったバザーでは、収益金を全て国内外のチャリティー団体に寄付した。



③ カンボジア支援

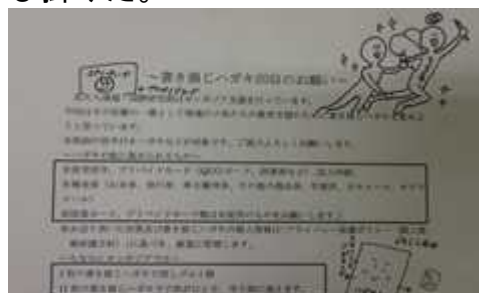
地域・国際研究部を中心にカンボジアへの支援を行った。毎年、カンボジアとゆかりのある「かぼちゃ」を使用したお菓子を作って、支援の呼び掛けしており、今年度はそのレシピを部員と保護者とで考案した。

また、市役所やボランティア団体と連携し、募金活動の場を校外へと広めた。自分たちの活動内容を知ってもらうだけでなく、運営を通して、他の国の文化を学んだり、地元のボランティア団体の取組を知ったりすることができた。



④ 書き損じハガキの回収

地域・国際研究部と人権委員とが協力し、オリジナルチラシを作成して、生徒・教員に書き損じハガキの回収を呼び掛けた。



## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

NPO法人IMCCDのホームページ
-------------------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1年生の総合的な学習の時間では、本校のユネスコスクールとしての取組を新入生に紹介している。また、自分の意見や企画を他者にわかりやすく発表したり、発信できるような生徒を育成するため、プレゼンテーションの仕方を学んだりする機会を設けている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

日頃は部活動を中心に活動に取り組んでいるが、文化祭などの特別活動では学校全体で取り組めるよう努めており、生徒会や家庭クラブ、人権委員会などが連携している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校活動の評価については特に行っていない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

毎年、文化祭の全体発表で生徒や保護者、地域の人に活動成果を発信している。徐々にOB・OGにも知られるようになり、市役所や地元の方々の協力が得やすくなった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

市役所(まちづくり推進課)やボランティア団体と連携してカンボジア支援を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

イベントなどの際に、市内の高校と情報交換を行っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

少しずつではあるが、つながりが縦横に広がっているように感じる。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今後もカンボジア支援を継続し、活動の場も広げたいと考えている。しかし、部員数の減少や予算、顧問（担当者）の確保などに課題が残り、ユネスコスクールとしての体制を維持していくことが年々、困難になってきている。高校教育課や教育委員会にも現状を伝え、次年度以降、ユネスコスクールを解除してもらう方向で検討している。